

## 経験を踏まえて今後の鉄骨製作に活かしていく決意

私は、対象となる製品は違いますが、大学時代からずっと構造設計を学んできて、大学院では建築物の耐震設計、入社後1年半まではコンテナクレーンの設計、その後はロケットで高度な強度設計技術を身につけてきました。

鉄骨製作業を継ぐことに対して、この歳まで建設業の実務経験が無く、人脈も無いのは確かにハンディになると思いましたが、それ以上に、製品は異なってもバックグラウンドにある設計思想や品質保証の考え方は共通であるし、今後、業務を応用・発展させていく上で異業種の経験が必ず生きると思いました。

更に、現状、国内外で地震により何千人という命が亡くなっているという現実を見るとまだまだ経済的なものも含めて技術で解決すべき課題があるのではないかということ、弊社中込工業所は鉄骨耐震補強工事を手がけていることを考えると、自分のやってきたことは繋がっていたのだと思いました。この年まで身につけてきた構造強度の評価技術、構造設計技術をこの業界で生かせるように、まずは建築の現物をよく見てよく学び、現業務以外のこともいろんな人から吸収して学んでいきたいと考えております。

写真は三菱重工時代の中込良之さん

